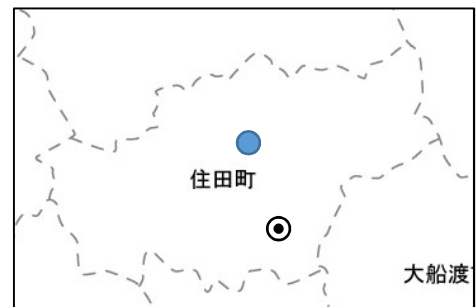


## 下有住集落（住田町）

### 【活動のポイント】

- 下有住集落では、地域行事に積極的に参加する住民が多く、収穫祭やお祭りなどのイベントには地域を挙げて取り組むなど、コミュニティが維持・継承されてきた。  
この特徴を生かし、地域が抱える「自然・人・仕事・地域コミュニティ」における課題に対し、より明確な課題の解決、発展を目指すために平成 29 年に「下有住いきいき活動協議会」を設立した。
- 協議会で高齢化や担い手不足による遊休農地の発生にどのように取り組んでいくか話し合いを行い、「そば」を栽培することで遊休農地を活用することとした。栽培したそばをそば粉に加工して販売しているほか、そば粉を活用した「そば打ち体験会」を開催するなど地域内外の人々が交流を深める場を創出している。
- 地域農業・資源を将来にわたり守っていくことを目的に、中山間組織と多面的機能組織が連携しながら様々な取組を展開している。農村文化の伝承活動では、下有住集落に受け継がれ町の無形文化財に指定されている「高瀬鹿踊り」の練習会や装束の修理などを行い、農村コミュニティの強化を図っている。
- 今後も、遊休農地へのそば栽培や地域イベントなど下有住集落ならではの多様な地域資源を活用しながら、地域内外の人々が交流できる場を作っていく。そして、文化や食を通じた交流により、地域の子どもたちにも作る喜び、食べる喜びを感じてもらえるよう集落を挙げて取り組んでいく。



集落位置図

● 対象集落      ⊙ 町役場